

「(仮称) 宮城県行財政運営・改革方針 (第 1 期)」骨子案について 【概要】

策定のポイント

- 全庁が同じ方向を目指して足並みを揃え、一丸となって取り組むことを意識
- ➡ 新・宮城の将来ビジョンの全期間を見据え、宮城県庁のあるべき姿を掲げ、全庁一丸となって進めていきます。
 - ➡ 目標達成に向けて取組項目(テーマ)を設定し、重点的・集中的に取り組むこととし、組織の横断的連携を図ります。

1 位置づけ

新・宮城の将来ビジョンに基づく政策・施策の着実な推進を行財政面から下支えするために、県の行財政運営に関する考え方や取組の方向性を示すもの。

2 計画期間 (予定)

令和3年度 ~ 令和6年度(4年間)

3 宮県県の行財政運営の考え方

◎宮城県を取り巻く現状と課題

- ✚ 社会の変化への対応
- ✚ 行財政運営の基盤強化
- ✚ 震災からの早期復興と経験・教訓の活用

◎宮城県庁のあるべき姿

『信頼と誇りの宮城県庁～明るい未来をつくる持続可能な行財政運営～』

(基本方向)

- ①自らイノベーションを生み出す組織
- ②多様な主体との協働により、合理的で先見性のある行財政運営
- ③県政の公平性・透明性を確保し、職員が元気で躍進できる県庁

4 取組の方向性

◎目標

『持続可能な行財政運営に向けて、財政、組織及びICT活用の基盤を確立』

◎課題

- ✚ 歳入減少と財政の硬直化
- ✚ 行政のデジタル化
- ✚ 大規模災害等への備え
- ✚ 職員の年齢構成や勤務環境の変化

◎方向性

- ✚ 全庁一丸となって対応できる仕組みづくり
- ✚ 時代の変化に対応する行財政運営
- ✚ 「時間を確保」する働き方改革
- ✚ 目標達成に向けて必要な実行力と予算

◎取組

柱	財政基盤と組織体制の強化	働き方改革とICT活用の促進	職員力の向上とコンプライアンスの徹底
取組項目 (例)	財政の健全化 組織の見直し 民間協働の推進 災害対応と震災の経験の継承	生産性の向上 柔軟な働き方の推進 行政事務のICT活用 合理的な行政サービス	人材育成 組織の総合力向上 コンプライアンス 透明性と信頼の向上

※取組項目及び具体的取組については、今後、宮城県行政経営推進委員会や庁内の意見を聞きながら検討していきます。

5 進行管理・評価方法

取組の実施状況と目標達成状況について、宮城県行政経営推進委員会の意見を踏まえ、宮城県行政改革推進本部で評価を行い、PDCAサイクルにより、継続的な改善を図りながら計画を着実に推進していきます。